

## 第196回 教育研究評議会 要録

日時 令和3年5月26日(水) 13時01分～13時46分  
場所 遠隔会議：Z棟R01室, 各研究室等  
出席者 今岡学長, 藤原理事, 小路田理事, 小川理事, 野村理事, 平井理事, 河本副学長, 黒子副学長, 高須副学長, 安田副学長, 遊佐副学長, 才協副学長, 中山文学部長, 山内理学部長, 中山生活環境学部長, 渡邊人間文化総合科学研究科長, 藤田工学部設置準備室会議議長, 石崎評議員, 鈴木広光評議員, 酒井評議員, 柳沢評議員, 鈴木則子評議員, 高田評議員, 柳澤評議員, 久保評議員  
列席者 三野監事, 福田監事, 岩阪事務局次長／総務・企画課長, 桑原国際課長, 川村研究協力課長, 林財務課長, 岩田施設企画課長, 鱸学務課長, 西村学生生活課長, 早川入試課長, 横井学術情報課長

議事に先立ち, 前回の記録を確認。

### I 審議事項

1. その他  
なし

### II 報告事項

#### 1. 第281回役員会について

学長から, 資料1により, 役員会選出の学長選考会議委員について小路田理事を選出したこと等の報告があった。

#### 2. 奈良教育大学との連携協議について

学長から, 資料2により, 5月14日に国立大学法人法の改正が成立したことに伴い, 法人統合が正式に決定し, 5月17日に奈良教育大学と合同記者会見を開いたこと, 令和3年度の国立大学改革推進補助金公募には申請しないことを決定したこと等の説明があった。

文学部長から, 教養教育や教員養成に関し, 今後の学内での審議予定について質問があり, 小川理事から教育計画室で検討を行った後, 定例会議に諮る予定である旨の回答があった。これに対し, 文学部長から, 卒業要件にも関わってくる事項であるため, 教育研究評議会に諮ってもらいたいとの意見があった。

#### 3. 国立大学協会近畿地区支部会議について

学長から, 資料3により, 5月13日に行われた会議について報告があり, 本学学長が近畿地区支部推薦理事に選任されたこと, 文部科学省との意見交換において第4期国立大学法人運営費交付金の構成と評価のイメージの説明があったことについて報告があった。

#### 4. 第3期中期目標期間(4年目終了時)に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について

小路田理事から, 資料4により報告があり, 評価報告書(原案)において意見申し立てを行わない旨の説明があった。

#### 5. 第4期中期目標・中期計画の検討状況について

小路田理事から, 第4期中期目標・中期計画の検討状況について報告があった。また, 6月17日に第2回目の文部科学省への事前相談を行う旨の説明があり, 柳沢評議員から, 第1回目と同様に事前相談の詳細な記録を報告いただきたいとの要望があった。

6. 卒業生・修了生の就職先への学習成果に関する調査結果について  
小路田理事から、資料5により報告があった。
7. 卒業・修了生の卒業・修了後5年目における学習成果に関する調査結果について  
小路田理事から、資料6により報告があった。
8. 「科学研究費助成事業の応募資格について（申合せ）」の一部改正について  
研究協力課長から、資料7により報告があった。
9. 令和4年度施設整備費補助金等概算要求事項について  
施設企画課長から、資料8により報告があった。
10. 各室等からの報告について  
なし

#### 11. その他

遊佐副学長から、DXの観点から業務軽減の取組みを進めたいと考えており、部局長会議及び教育研究評議会において、これまでメールによる資料の送信と紙資料の配付の両方を行ってきたが、Proselfによる学内のサーバーから各自が資料をダウンロードする方法の開始に伴い、学長、理事、監事及び紙資料の配付を特に希望する者を除いて紙資料の配付を行わないことの提案があり、次回からこれを実施することとした。また、柳沢評議員から、全員が対面で実施する場合も各自が印刷したうえで持参するののかとの質問があり、学長及び遊佐副学長から、今回はリモート会議のみを対象と考えており、今後、検討する旨の回答があった。

高田評議員から、前回会議記録における学長選考会議委員の選出において、投票結果の票数を記載しないことの意図について質問があり、学長から、一昨年に実施した前回投票の会議記録にも票数は記載しておらず、これを踏襲しているとの回答があった。また、投票の目的は投票により上位4名を選出することであり、教育研究評議会の場合でも票数は読み上げていないとの説明があった。これに対し、高田評議員から、前回投票の際には票数の読み上げが行われている。学長選考会議委員の選出は極めて重要な事項であり、一般に公開される会議記録に票数を記載しないことは不適切であるとの意見が、鈴木則子評議員から、票数を記録に明記することにより不都合がないのであれば記載すべきとの意見があり、学長から、教育研究評議会の議長として今回の記録には票数は記載しないこととする旨の発言があった。

以上